2024.7.9

安全データシート

作成日：2022年12月16日

改訂日：2024年7月9日（改訂2）

1.化学品及び会社情報

製品の名称：ハクゾウハイポクロス

会　　社：ハクゾウメディカル株式会社

住　　所：大阪府大阪市中央区徳井町2-4-9

担 当 部 門：研究開発部

電 話 番 号：06-6942-0390

ファックス：06-6942-2662

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	：区分外
自然発火性液体	：区分外
自己発熱性化学品	：区分外
水反応可燃性化学品	：区分外
酸化性液体	：区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	：区分外
皮膚腐食性・刺激性	：区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	：区分外
水生環境慢性有害性	：区分外

絵表示またはシンボル　：該当なし

注意喚起語　　：該当なし

危険有害性情報　　：該当なし

注意書き

【安全対策】

保護眼鏡、保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。

【救急措置】

該当なし

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

（注）物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　：混合物
成分及び含有量　：チオ硫酸ナトリウム　5.5w/v%（不織布に含まれている）
化学式又は構造式　：$Na_2S_2O_3$
官報公示整理番号（化審法）：（1）-503
官報公示整理番号（安衛法）：公表化学物質
CASNo.　：10102-17-7（五水和物）

4.応急措置

吸入した場合

：呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の手当てを受ける。

目に入った場合

：直ちに水で15分以上注意深く洗う。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合

：口をすすぎ、うがいをする。
コップ数杯の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状

：情報なし

5.火災時の措置

消火剤：本品は不燃性である。
周辺火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

：特になし

特有の危険有害性

：火災中に刺激性又は毒性のヒュームを発生する可能性がある。

特有の消火方法

：火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
風上から消火活動をする。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

：空気呼吸器、化学用保護衣を着用し、風上から消火作業を行う。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

：漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項

：河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。

回収、中和

：漏洩物をウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。
回収した漏洩物は、後で適正に廃棄処分する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

：危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

：周辺の発火源を速やかに取除く。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

技術的対策

：特になし

局所排気・全体換気

：換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
この製品を使用する前に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。

接触回避

：湿気、水、高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策

：使用する時は、容器をよく振ってから使用する。
容器を開封すると、保管条件により本製品のファクターが変動することがあるので、開封した場合は、なるべく早く使い切る。
保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。

保管条件

：直射日光や高温を避けて保管する。
容器を密閉して冷暗所に保管する。
一度取り出した内溶液は元の容器に戻さない。
混触危険物資、食料、飼料から離して保管する。

混触危険物質

：酸類、強酸化剤

容器包装材料

：ポリエチレン、ポリプロピレン等

8.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：無色澄明の液体
臭い：無臭
pH：弱アルカリ性
融点：データなし
沸点：データなし
引火点：不燃性
爆発範囲：爆発性なし
蒸気圧：データなし
蒸気密度（空気＝1）：データなし
比重（密度）：データなし
溶解度：水に対し自由に混和する（溶ける）。
オクタノール／水分配係数：データなし
自然発火温度：データなし
分解温度：データなし
粘度：データなし

GHS 分類

引火性液体　　：本品は水溶液で不燃性であることから、区分外とした。
自然発火性液体　：本品は水溶液で不燃性であることから、区分外とした。

自然発熱性化学品　：本品は水溶液で不燃性であることから、区分外とした。
水反応可燃性化学品：本品は水溶液で安定である（水との混触で可燃性ガスの発生がない）ことから、区分外とした。
酸化性液体　　：本品は還元性物質であることから、区分外とした。

9.ばく露防止及び保護措置

管理濃度
：設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）
：日本産衛学会（2017 年版）　設定されていない。
ACGIH（2017 年版）　設定されていない。
設備対策
：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
取扱場所には、局所排気又は全体換気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具　　：呼吸器保護具（防じんマスクなど）を着用する。
手の保護具　　：保護手袋（塩化ビニル製、ニトリル製など）を着用する。
眼の保護具　　：保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣を着用する。
必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策
：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。

10.安定性及び反応性

安定性：通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性
：酸類と混触すると分解して、有毒な二酸化硫黄（亜硫酸ガス）が発生することがある。
本品は還元性があり、強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。
避けるべき条件：日光、高熱
混触危険物質：酸類、強酸化剤
危険有害な分解生成物：二酸化硫黄（亜硫酸ガス）

11.有害性情報

急性毒性　：経口　飲み込んでも有害性は低いので、区分外とした。
経皮　皮膚に接触しても有害性は低いので、区分外とした。
吸入(蒸気)　蒸気を吸入しても有害性は低いので、区分外とした。
吸入(ミスト)　ミストを吸入しても有害性は低いので、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性　：皮膚に付着しても刺激性は低いので、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：眼に入っても刺激性は低いので、区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性　：知見がないため分類できない。
生殖細胞変異原性　：知見がないため分類できない。
発がん性　：IARC、AGGIH、NTP、EPA に記載なし。
生殖毒性　：情報がないため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性
（単回ばく露）：情報がないため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性
（反復ばく露）：情報がないため分類できない。
吸引性呼吸器有害性　：データがないため分類できない。

12.環境影響情報

水生環境急性有害性：魚類（ガダヤシ）　LC_{50}=24000mg/L/96H（チオ硫酸ナトリウム）に基づき、区分外とした。
水生環境慢性有害性：急性毒性は低く水に溶けやすいので、区分外とした。
オゾン層への有害性：本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物　：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。
廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
（参考）酸化分解法

炭酸ナトリウム（ソーダ灰）を加えてスラリー状にした後、次亜塩素酸ナトリウムを加えて酸化分解する。約数時間放置した後、酸で中和し、多量の水と共に排水処分とする。

汚染容器及び包装：内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

国内規制　（適用法令）

陸上規制　　：特段の規制なし（非危険物）
海上規制　　：特段の規制なし（非危険物）
航空規制　　：特段の規制なし（非危険物）
国連番号　　：非該当
国連分類　　：非該当
品名　　：非該当
海洋汚染物質　：非該当
特別の安全対策：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15.適用法令

労働安全衛生法　　：非該当
毒物及び劇物取締法　　：非該当
消防法　　：非該当
化学物質管理促進法（PRTR法）：非該当
船舶安全法　　：非該当
航空法　　：非該当

16.その他の情報

特になし

主な参考文献

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ　化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ　化学工業日報社（2007）

化学物質の危険・有害便覧　中央労働災害防止協会編
化学大辞典　共同出版
安衛法化学物質　化学工業日報社
産業中毒便覧（増補版）　医歯薬出版
化学物質安全性データブック　オーム社
公害と毒・危険物（総論編、無機編、有機編）　三共出版
化学物質の危険・有害性便覧　労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
GHS 分類結果データベース　nite（独立行政法人　製品評価技術基盤機構）HP

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、個々の取扱いにおいて適切な安全策・適切な処置をとられますよう、お願いします。